



讃志会

質問者

おおやまもりひさ
大山盛久議員



所属議員

ひがしかわさぶろう
東川三郎議員

おくのやすひさ
奥野泰久議員

はらだ
原田てつよ議員

やまもと さとし
山本 聡議員

二期八年にわたり民間出身の市長として手腕を発揮してきた。

三期目に当たり抱負を尋ねる（主に産業振興）

〔質〕 産業振興についてどのように取り組むか。

〔答〕 人口減少に歯止めをかけるため、財政力を高めることを最優先に短期的には市有地売却、ふるさと納税、収納率の向上、課税客体の見直し等を積極的に行い、長期的には企業誘致と地場産業の育成を推進し、税収等の自主財源を確保した。さらなる企業誘致のため、土地の確保について検討を行い、広域交通結節拠点周辺開発整備構想のもと、篠坂パーキングエリア周辺を優先的に土地利用するため、の検討を進めた。各候補地を含め、農業振興地域の除外や土地利用規制の変更に係る準備を進め、事業用地造成促進奨励金の活用による民間活力にて工業用地の造成を図る。また、6次産業化・地産地消

〔答〕 建て替え準備のため、基本設計段階に入った。市内診療所や総合病院と連携しながら近隣高度急性期病院などと連携し、治療後回復機能を有した病院を目指す。

〔質〕 市民病院の進捗を尋ねる。

法に基づく6次化認定事業者として4者が農林水産大臣の認定を受け、鶏卵を利用したスイーツや殻つきカキの商品化など、笠岡の1次産業を生かした商品の開発、販売がなされた。地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組だ。その他、道の駅の魅力アップを目指し、乳搾り体験などを行うことができる農業体験フロアを整備したい。さらに、バイオガス発電の稼働が、におい低減につながればと考えている。



公明党

質問者

さいとうかずのぶ
齋藤一信議員



所属議員

おおもとくにみつ
大本邦光議員

干拓地臭気問題を解決しよう！

〔質〕 バイオガス発電施設、かぶとバイオファーム発電が稼働することによって、笠岡湾干拓地の臭気が軽減するというエビデンス（根拠・裏付け）を市民の皆様にお知らせしているのか。発電施設が稼働したときに市民が混乱しないように、正確な情報があればお示しいただきたい。

〔答〕 バイオガス発電施設については大きく期待しているが、発電施設ができたからといって、すぐ臭気がなくなるというものではないと認識している。畜産業者へ県と井笠家畜保健衛生所、市職員が実際に牛舎、あるいは堆肥の状況を

確認しながら、臭気が強い場合にはこのような改善をしてくださいという指導は定期的に行っている。また、臭気報告アプリも昨年8月

から運用している。本市ホームページにも、昨年8月から3月までの状況は掲載している。そういった状況を分析しながら、時間帯や風向き、あるいは悪臭が発生した場合にどういった作業を畜産業者がしていたか突き合わせをしなから、臭気の削減に努めていかなければいけないと思っているし、予算を確保して、畜産業者が飼料価格高騰でなかなか予算を臭気へ回すことができないという実情も聞いているので、できるだけ市がそういういった資材を補助できるように検討している。

その他、高齢者対策（独居高齢者対策、老老介護支援）等について質問しました。